

施政方針演説

R5. 3. 9

この冬は比較的雪も少なく、町民生活や産業活動への影響も少ない冬となりました。一方、氷ノ山では適度な積雪に恵まれて、今年も多くのお客様で賑わいました。ここ数日は、温かい晴天が続き、雪解けが進み、春の足音が一気に高鳴ってまいりました。

さて、コロナ禍は4年目を迎えましたが、全国的にもコロナは収束に向かいつつあるように思います。来週13日からはマスクの着脱が個人の判断に委ねられることとなり、また5月の連休明けには感染法上の位置付けを季節性インフルエンザ並みの「5類」に引き下げる方針が示されました。ようやくコロナの長いトンネルも出口が見えてきたといってもよいかもしれません。

一方、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻が勃発するなど、国際社会の秩序が大きく揺らいだ年でもありました。国際的な物流機能も大きく損なわれ、食材費や燃油代、電気代等のエネルギー価格を始め諸物価が高騰し、私たちの生活を今なお苦しめています。一刻も早い国際社会の平和と安定、国民生活の安寧を願うものです。

本日、令和5年第2回若桜町議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆様にはこぞってご出席いただき、令和5年度一般会計当初予算並びに令和4年度補正予算及び諸議案等のご審議を賜りますことに、感謝申し上げます。

本定例会に提案しております諸議案の説明に先立ちまして、私の所信の一端を述べさせていただきます。

私が昨年2月に就任して、早いもので1年が経過しました。この一年間、町政課題に道筋を付けること、町民の暮らしを守

ること、地域経済を活性化させること、この3つを常に念頭に置きながら、職務に取り組んできました。成果はまだまだこれからではありますが、来年度に向けてもしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

さて、来年度の施策につきまして、町の総合計画に掲げる6つの基本目標に沿ってご説明いたします。

まず、「安全で快適に暮らしやすいまち」についてです。

今年は、鳥取市佐治町地域で積雪に伴う電柱や樹木の倒壊による集落の孤立がありました。本町内でも台風や積雪に伴う倒木等により、これまでも何度か集落の孤立事案が発生しております。このたび県と事業者と連携して、公道沿いの樹木について危険個所の事前伐採を行う事業スキームが創設される見込みであり、町としても取り組んでまいります。

地域公共交通について、町民の利便性と効率性を両立し、持続可能な交通体系を構築するため、町営バス舂米線及び落折・吉川線から切り離してスクールバスを2台導入し、児童生徒の通学の利便性の向上を図ります。また、落折・小船地区に地域コミュニティタクシーを導入し、地域で高齢者の生活交通を守る取組を支援します。

緊急車両の通行や除雪への円滑な対応を可能とし、住民生活の安心安全を確保するため、町道吉川線、来見野線の新設・改良を進めるとともに、栃原小学校線については引き続き用地取得を進めます。また、大野橋を始め老朽化した橋梁の補修・改良など生活インフラの整備を進めます。

倒壊の危険のある空家など特定空家への対応が課題となっていますが、昨年度策定した空家等対策計画に基づいて、空家所有者への適正管理の行政指導や危険空き家等の除却を促進し、地域の安全かつ快適な居住環境の確保に努めます。

情報通信基盤整備として、更新時期を迎えている I P 告知端末について、来年度から 3 カ年の計画で更新することとし、スマートフォンとの連携等新たな機能を付加して利便性を高めます。

脱炭素の取組として、本町の豊富な森林資源を活用し、J-クレジット制度を活用した町有林の整備を進めることとし、国への認証申請の手続きを行います。また、引き続き、住宅用太陽光発電設備や薪ストーブへの助成などを通じて再生可能エネルギーの活用促進を図ります。

次に「みんなを大切にし、子どもを産み育てやすいまち」についてです。

人口減少に歯止めを掛けるため、まず結婚支援の施策を拡充し、新たに「縁結び世話人」を任命して婚活活動をきめ細かくサポートします。また、出産祝い金制度を拡充し、出産時の祝い金を増額するとともに、小学校・中学校・高校の各進学時に祝い金を給付し、子育て世代の経済的負担の軽減を図ることで少子化対策を強化します。

また、従来の金婚に加えて、ダイヤモンド婚、プラチナ婚についても新たにお祝いの制度を設け、これまで町にご貢献いただいた高齢者世帯の皆さまへ祝意を表すこととします。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムを担う関係機関の連携を強化するとともに、認知症の当事者やご家族への支援に取り組みます。また、鳥取大学医学部とも連携して高齢者医療に関する調査研究のフィールドを提供し、地域医療を担う人材を育成します。

次に「豊かな心と体を育み、人材を育てるまち」についてです。

文化財の保護と活用を図るため、国の重要伝統的建造物群保

存地区に選定された若桜地区について、保存活用に取り組む住民団体の設置と活動支援を行い、町民と協働しながら重伝建地区活性化の取組を推進します。

あわせて、近年山城ブームで県外からも来客の多い国史跡若桜鬼ヶ城について、昨年に引き続き景観支障木を伐採するとともに、町民ボランティアによる遊歩道等の草刈りの実施やトイレの設置など、快適な環境を整備します。

高校生等が地域活動を通じて地元への愛着や地域とのつながりを強め、健全な育成や将来的な定住につなげるため、高校生等のボランティア活動などの地域活動を促進します。

次に「豊かな産業を活かし、産業が活性化するまち」についてです。

トスク若桜店の閉店を見据え、店舗や移動販売が維持・継続できるよう、官民連携して買い物環境の整備に取り組みます。

若桜米の販路を開拓し、ブランド化による有利販売を目指すとともに、小規模自給農家の農産物の道の駅での取扱量を増やすなど農家所得の向上を図ります。また、有害鳥獣の捕獲を促進するとともに、「わかさジビエ」のPRと販路拡大を図り、特産化の取組を支援します。

木材の素材生産量を拡大し、林業・森林産業全体の活性化につなげるため、林道・作業道などの路網の整備、高性能林業機械の導入による作業の効率化、技能者の育成確保等を進めます。あわせて、所有者の世代交代や不在村化が進む中、境界不明森林が加速度的に進むことが懸念されるため、航空レーザー測量のデータも活用しながら山林の境界明確化に着手し、地籍調査への活用につなげます。

町内での起業を促進し、地域内での経済循環を促進するため、地域おこし協力隊の制度を活用して、そば職人や、パン職人など

の起業人材の誘致を進めます。あわせて、特定地域づくり事業協同組合の参加事業所や雇用者を拡充し、雇用の受け皿を増やして地域経済の活性化を図ります。

観光面においては、アフターコロナの誘客を拡大するため、氷ノ山のグリーンシーズン対策を強化し、キャンプ場のリニューアルを進めるとともに、氷ノ山グラウンドのこの秋の完成を目指して改修を進めます。また、若桜地区の重伝建地域内で、観光客の2次交通としての利用も見据え、小型で低速、環境にやさしい乗り物であるグリーンスローモビリティの導入を目指して実証実験を行います。

次に「住みたい・訪れたい・楽しみたい魅力的なまち」についてです。

国際交流については、台湾新竹縣横山郷との交流提携を一昨年の12月に締結しましたが、コロナ禍で未だにお互いに往来ができていません。コロナの収束を見据え、水際対策が緩和され、チャーター便の運航も再開されつつある状況ですが、今後の動向も見据えながら、訪台を実現したいと考えております。また、元徴用工への賠償問題への対応など、日韓関係も今後急速に改善が進んでいくものと思われるので、韓国平昌郡との交流についても再開の糸口を探っていきたいと考えております。

兵庫県多可町、福井県若狭町との3町交流については、昨年多可町において3年ぶりに交流を再開しました。多可町のアウトドアツーリズム、福井県若狭町の重伝建選定の熊川宿などの観光振興等各町には本町が学ぶべき点も多く、今後とも交流を深めてまいりたいと思います。今年は地元開催となりますので、町のPRもしっかり行っていきたいと思います。

コロナが収束に向かうとともに、地方移住の動きも増えてくることが予想されます。活用可能な空家の登録を促進し、移住希

望者の住居を確保するとともに、SNSでの情報発信を強化して移住者の増加に結び付けてまいります。

IターンやUターンなどの移住者に加え、町民も対象とする総合的住宅支援制度について、引き続き活用を促進するとともに、新たに新町に分譲宅地の造成を行い、住まいの環境整備を進めます。

最後に「住民参加のまち」についてです。

今年度リニューアルしたホームページやスマホ連携機能を加えて更新するIP告知端末等を活用し、町民への情報提供を充実させます。

町長自ら各集落に出向いて意見交換を行う出前町長室の取組を本格化させ、各集落の現状と課題や町政への意見・要望をお聞きし、今後の施策立案につなげていきます。

町の将来を担う人材を育成するために、人材育成事業の見直しを行い、町民自ら企画立案し、町の活性化につながる取組を支援します。

過疎化・高齢化により集落機能の維持が困難となりつつある池田地区において、常勤の集落支援員を配置し、集落機能を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。

職員の政策立案機能を向上させるため、総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、講習の受講と担当業務への応用、施策遂行まで寄り添い型の研修を実施し、個々の職員の更なる能力向上を図ります。

以上、令和5年度の主な取組の概要を説明いたしました。2年目も、地域経済の活性化と町民生活の向上を図り、人口減少に歯止めが掛るよう、職員ともども様々な課題に立ち向かっていきたいと思いますので、引き続き議員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。